

發行兼編輯人 川崎文治 印刷所 福島縣石城郡磐城町十一番地 印刷所 木村野島製陽社

常新新聞

定部金貳錢 廣五號十二 告字詰一行 日刊 日曜大祭福島縣石城郡平町長橋町三五 日祝日ノ翌發行所 常警毎日新聞社 電話六三〇陸

刊夕日五十月十

沿革の詳細は他日に譲り是れより本題に入るべし此に一寸ユビンの局の受持地域の説明を爲す必要あり

一、ユビンの物の集配事務を扱ふ集配ユビンの局が設置せらるることユビンのなるものが設定せられ又其のユビンの局に電信事務がカイ始せらるると電信區なるものが設定せられ又電話

常警毎日新聞 通信上より見たる平町

平町郵便局長 小松滋

沿革の詳細は他日に譲り是れより本題に入るべし此に一寸ユビンの局の受持地域の説明を爲す必要あり


一、ユビンの物の集配事務を扱ふ集配ユビンの局が設置せらるることユビンのなるものが設定せられ又其のユビンの局に電信事務がカイ始せらるると電信區なるものが設定せられ又電話

常警毎日新聞 通信上より見たる平町

平町郵便局長 小松滋

コ
サ
ク

良くて安いのは「弊舗の萬言よりも來客の一言に有り」



一度御試用を乞ふ

定價 壹圓五十錢

日丁三町平城磐
堂地天

○眞品廉賣に勝る商略なし○

磐城セメント會社特約店

和洋銅鐵 釜屋商店

磐城平町五丁目電話一三九番

外科内科 産婦人科 花柳病科

平町鎌田町

金成醫院

金成忠義 電話三五八番

鐵道省 御指定 仙台高等工業學校 試驗證明

福島縣廳

萬幸瓦

萬年瓦工業株式會社 福島縣四會町 電話三八番

平町森合齒科醫院

「同自轉車ノ眞價ハ一度乗ツタ御方ニ御聞キ下サイ」今回ハ第四回目デス現品先渡モ御相談シマス

是非御入會ヲ願ヒマス

エビスヤ自轉車店

購買會ハ 第一回 七十一台 第二回 八十二台ノ御同情

フ戴キマシテ未ダ一回ノ御批難モ戴キマセン

○公債、債券高價に買入ます

外務員募集

福島縣共榮無盡代代理店 日本物業債券會社 大谷保太郎

平町南町公會堂角電話三四四番

電氣機械器具各種材料販賣 電燈電力工事設計並ニ請負

製作ハ日立製作所

販賣ハ磐城工業商會

株式會社日立製作所特約店 東京電氣株式會社特約店

器壓變ルト一モ すまし致を理修の

目丁四町平線警常 番八一一話電 會商業工城磐 助治佐村中

余釀造元

清酒 鶴仙

石城郡平窪村 松吉屋本店 電話二四二番

懸賞!

ニットー蓄音器 會社のクロスワード

無代進呈

小數に付レコード御買上の方に限り用紙を差上ます

締切は十月廿七日付至急御來店下さい

平町四丁目

電話三六三

店計時田會

公周旋業

電話 七〇二番

新設

滑川敏之補

平町新田町

本社專屬工場の 移轉と改稱に就いて

本社專屬印刷工場磐陽社(平町鍛冶町十番地)は今後一層業務を擴張せんが爲め工場完備の必要に迫られ来る十八日迄に平町長橋町卅五番地(現在社屋)に移轉すると同時に『常磐毎日印刷部』と改稱し本紙印刷の傍ら總べての活版印刷を引請け敏速低廉を旨とし日頃の御愛顧に報ゆる事に相成候也

常磐毎日新聞社

石城郡から二名 氏名を偽つて……

去る七月廿五の雨日北海道札幌市に於て開かれた全國町村長大會に石城郡からは馬上植田町長以下七名が出席した事になつて居るが其内二名 即ち泉村長中村立躬、赤井村長若松美三の兩氏は實際出席しなかつたに拘らず何人か其氏名を偽つて汽車割引券の交付を受け同大會に出席して酒肴の接待を受けたのみならず土産品の分配に迄あつたから發覺するに至つた、同大會の出席資格者は町村長であらねばならぬ事勿論であるが若し代理人の場合には助役に限ると

北海道に開かれた 町村長大會に臨む

云ふ事になつて居る然るに氏名詐稱の御當人等は平然と紀念寫眞の中に割込んで居ると云ふ事であるから近く何人が此事を敢えてなしたか
判明する であらうが仄聞するに窪田村會議員中の二名であるとの説もある

栽培獎勵 石城郡にて

石城郡農會ではレンゲ草の緑肥獎勵につとめて居るが同郡養蠶同業組合では最近レンゲ以上に有利な緑肥としてサードウヰツケンを奨励し宣傳を初めたが同草は



松茸料理

▲松茸の田樂 松茸の笠の開いたものを撰んで鹽水につけ二三十分間位の後洗つて笠と莖を切り放しておき

收監六名を出した 湯本の選舉違反

文字通り未曾有の事件 就き何事かを聽取する處あり彼此同町の昨今は寄るこ觸るとこの話で持切りの有様で物情極めて騒然たるものがある、尙該事件に關し某消息通の語る處によれば「湯本今回の問題に類似の事件は大正九年の總選舉當時宮城縣に起つた様に記憶してゐるが、その時は廓然たる證據があがらなかつた爲一時江湖の話題として花を咲かせたに止まり其の儘になつたのではないかと思はれる果してそうとすれば湯本の事件はその表面化した意味に於て文字通り選舉界未曾有の違反事件で隨つて大正八年改正以後に於ける罰則の或法條を以てのぞまる、皮切りの事件ではないかと思はれる云々

多大の 注意を拂つ

てその伸展を刮目しつゝあるが最近前記六名の收監者以外某々三四の取調をなしたる本署では昨十四日更に當時の選舉立會人たる小井戸大次、菅波駒吉、松繁庄一、若松忠兵衛以上四名の 町會議員に

柔道の試合 警中道場にて

平町渡邊順道館對警中柔道場にて 次は白味噌汁を充分すり二合の煮出し汁と三十匁の砂糖を加へ一度蒸ごしにかけて鍋に取り又火にかけとうりと煮上げ一つまみの味の素を混ぜて能くかきませ他の器に移しておきます。さうして前の松茸を串に刺して両面を少し焼いて少量の胡麻油を塗り、尙

井上氏の報告 部の柔道試合は十八日午前十一時より警中道場にて行はれると

泥棒教員は 卒業證書偽造 刑務所に收監

石城郡大浦村小學校元代用教員奥田勇夫(三)が八月十日宮城縣桃生郡十五濱村字雄勝に歸省中同村小學校に忍び入り作業服文具その他を又某呉服店から衣類數點を竊取したこと發覺し四倉署で取調の上送檢されたことは既報したがその後に至り同人は本名を山下勇吉と言ひ本年四月小學校に奉職の際仙台第一中學校の卒業證書を偽造し小橋校長及郡當局を欺いたことが發見され平刑務所に收監された

平消防組の キノコ狩り 来る十八日に

平消防組にては秋季檢閲を兼ね来る十八日午前六時十分平驛發にて四倉に至り大野村白岩山に向つて茸狩りを催すといふ

稲の刈り時を 遅らしてはならぬ

稲作の收穫期が迫つて來たが由來石城地方の農家では勞力分配上の關係もあるだろうが收穫の適期を逸する傾向があり遅延するために被る脱落鳥蟲害等の損害は非常なもので其の上

脱落や鳥害だけでも 見過せない大損害

と驚くべきものがある即ち早刈(莖葉が少く黄戀した時)の反當り收穫は二石〇八で中刈(穂色の時)は二石一九八で遅刈(莖葉灰白色を呈し穂が黄白色に變じた時)のは一石四八九といふ

大差が、生ずるので早過ぎるのでは大した減收を見ないから農家は收穫期

狩獵免狀下 平署で七十二人

狩獵の解禁もいよいよけふとなつたが十四日平署に免

平 商修學旅行 關西地方へ

平商業學校三年生は中村教諭關口書記引卒の下に關西方面に修學旅行の爲め廿二日午前七時廿六分平驛出發し東京、名古屋、宇治山田、奈良、大坂、神戸、京都を経て廿九日歸校の豫定であるが旅費概算廿九圓の由

三郡銀行會 濱三郡銀行同盟會例會は廿五日

午前十時より警城銀行幹事の下に石城郡植田小學校に於て開催する

平町人事

心ばかりの供養をして十一日午前三時頃桐ヶ谷の火葬場に送らうと棺を釘付けにする中死んでる筈の嬰兒が泣聲をあげたので大騒ぎとなつて蓋を取つて見ると死んでる處か元氣よく動き出したので一家は悲しみ變じて喜びとなつて今度は區役所に死亡届の取消願をするやらして二兒を育て、行く事になつた

出生

△古銀治町五 水澤常松氏六男榮六
△一丁目二〇 當時英城縣多賀郡磯原町 野上久藏氏六男誠司
△死亡
△三丁目二四 關内平吉(一)